

02 乳癌

※ レジメン名称を [クリック](#)または [Ctrl + クリック](#)してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#)を選んでください。

	分類	コード	レジメン名 称	備考
1	共通	02002-3A	EC75	
2	共通	02002-4A	EC100	
3	共通	02003-1A	Doc75	
4	共通	02005-1A	Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)	
5	共通	02005-2A	Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)	
6	共通	02006-5A	Pacli w 療法(2 週目)	
7	共通	02006-6A	Pacli w 療法(3 週目)	
8	共通	02006-8A	Pacli w 療法(1 週目)	
9	共通	02008-1A	TC 療法	
10	科別(乳腺)	02009-1B	トラスツズマブ(4mg)(初回)	
11	科別(乳腺)	02009-2B	トラスツズマブ(2mg)(2q以降)	
12	科別(乳腺)	02010-1B	トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)	
13	科別(乳腺)	02010-2B	トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)	
14	科別(乳腺)	02011-1B	アブラキサン(3w)(乳)	
15	科別(乳腺)	02012-1B	エリブリン(2 投 1 休)	
16	科別(乳腺)	02013-1B	GEM(2 投 1 休)	
17	科別(乳腺)	02015-1B	GEM(2 投 1 休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)	
18	科別(乳腺)	02015-2B	GEM(2 投 1 休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)	
19	科別(乳腺)	02016-2B	GEM+Pacli	
20	科別(乳腺)	02017-1B	VNR(2 投 1 休)	
21	科別(乳腺)	02019-1B	VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)	
22	科別(乳腺)	02019-2B	VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q以降)	
23	科別(乳腺)	02020-2B	ベバシズマブ(1/2w)+パクリタキセル(3 投 1 休)	
24	科別(乳腺)	02021-1B	CMF(original)(入院用)	
25	科別(乳腺)	02021-2B	CMF(original)(外来用)	
26	科別(乳腺)	02022-1B	CMF(modified)	
27	科別(乳腺)	02023-1B	CPT-11 original(3 投 2 休)	
28	共通	02024-1A	Doc75+ペルツズマブ+トラスツズマブ(3w)(初回)	
29	共通	02024-2A	Doc75+ペルツズマブ+トラスツズマブ(3w)(2q以降)	
30	共通	02027-1A	カドサイラ療法	
31	科別(乳腺)	02028-1B	エリブリン+トラスツズマブ療法(8mg)(3w)初回	
32	科別(乳腺)	02028-2B	エリブリン+トラスツズマブ療法(6mg)(3w)2q以降	

02 乳癌

※ レジメン名称を **クリック**または **Ctrl+クリック**してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、“**現在のページを印刷する**”を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
33	共通	02029-1A	Doc+CBDCA+トラスツス`マブ` (8mg)(3w)(初回)	
34	共通	02029-2A	Doc+CBDCA+トラスツス`マブ`(6mg)(3w)(2q以降)	
35	共通	02030-5A	ヘルツス`マブ`+トラスツス`マブ`+Paclitaxel(初回)(1週目)	
36	共通	02030-6A	ヘルツス`マブ`+トラスツス`マブ`+Paclitaxel(初回)(2週目)	
37	共通	02030-7A	ヘルツス`マブ`+トラスツス`マブ`+Paclitaxel(DEX1.65mg)	
38	共通	02030-8A	ヘルツス`マブ`+トラスツス`マブ`+Paclitaxel(2q以降)(1週目)	
39	共通	02031-1A	dose-denseEC療法	
40	共通	02032-1A	TC+トラスツス`マブ`(8mg)(3w)(初回)	
41	共通	02032-2A	TC+トラスツス`マブ`(6mg)(3w)(2q以降)	
42	共通	02033-1A	アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel療法(初回)	
43	共通	02033-2A	アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel療法(2q以降)	
44	共通	02034-5A	トラスツス`マブ`(3w)+パクリタキセル(1q目)(1週目)	
45	共通	02034-6A	トラスツス`マブ`(3w)+パクリタキセル(1q目)(2週目)	
46	共通	02034-7A	トラスツス`マブ`(3w)+パクリタキセル(DEX1.65mg)	
47	共通	02034-8A	トラスツス`マブ`(3w)+パクリタキセル(2q以降)(1週目)	
48	共通	02035-2A	ドーズデンスパクリタキセル療法	
49	共通	02036-1A	ペムブロリズマブ+ゲムシタビン+カルボプラチン療法(3週間間隔)	
50	共通	02037-1A	ペムブロリズマブ(3週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)1クール目	
51	共通	02037-2A	ペムブロリズマブ(3週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)2クール目以降	
52	共通	02038-1A	ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)1クール目	
53	共通	02038-2A	ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)2クール目以降	
54	共通	02039-1A	ペムブロリズマブ(3週間間隔)+nab-Paclitaxel療法(12週間間隔)	
55	共通	02040-1A	ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔)+nab-Paclitaxel療法(12週間間隔)	
56	共通	02041-1A	ナブパクリタキセル(毎週)+ベバシズマブ療法	
57	共通	02042-1A	ペムブロリズマブ+パクリタキセル+カルボプラチン(3週間間隔)	
58	共通	02043-1A	ペムブロリズマブ+パクリタキセル+カルボプラチン(1週間間隔)	
59	共通	02044-1A	ペムブロリズマブ+EC	

60	共通	02045-1A	ペムブロリズマブ（術後）(3w)(乳癌)	
61	共通	02046-1A	ペムブロリズマブ(術後)(6w)(乳癌)	
62	共通	02047-1A	トラスツズマブ デルクステカン(乳癌)	
63	共通	02048-1A	【初回】フェスゴ配合皮下注 IN	
64	共通	02048-2A	フェスゴ配合皮下注 MA(維持)	
65	共通	02049-1A	(1-1)PTX+フェスゴ配合皮下注 IN	
66	共通	02049-2A	(1-2)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA	
67	共通	02049-3A	(1-3)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA	
68	共通	02049-4A	(2-1以降)PTX+フェスゴ配合皮下注 MA	

02002	乳 癌	EC	申請科
			外科

H28. 10 改訂 H29. 10 改訂 H30. 3 改訂 H30. 9 改訂 H31. 1 改訂 R3. 2 改訂 R4. 3 改訂

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エピルビン塩酸塩 (epirubicin)	75又は100mg/m ²	div.	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	500mg/m ²	div.	day1
3週毎 術後補助:4-6クール 再発進行癌:耐性まで or エピルビン 900mg/m ² まで 化療ベット予約:1 時間で登録			
Regimen			
15 分	day1 メイン①パロセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注6. 6mg 1B	備 考	
5 分	側①生理食塩液 50mL 1B エピルビン塩酸塩 ()mg	【レジメンシステム登録】 02002-3A EC75 ・EPI 75mg/m ² 02002-4A EC100 ・EPI 100mg/m ²	
30 分	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ()mg	* 02002-3A、4A は H29.10 に追加	
全開 (5 分)	側③生理食塩液 50mL 1B	・支持療法はセット処方オーダ アプレピタント 125mg 1CP 化学療法前 アプレピタント 80mg 1CP 分 1 朝食後 day2,3 デカトロン 0.5mg 8錠分 2 朝昼食後 day2~4 ロゼパム 0.5mg 2錠分 2 朝夕食後 <div style="text-align: right;">day1 夕~day4</div> ハミン 3錠分 3 毎食後 day1 夕~day4	

外科

R3.5 改訂

02003-1A Doc75

02005	乳 癌	Doc75+トラスツズマブ(3w)	申請科 外科
-------	-----	-------------------	-----------

H23.5 登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 **R3.5 改訂**

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	day1 3週毎
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	div. (1h以上)	day1 3週毎

耐性になるまで

化療ベット予約:2 時間 30 分で登録

Regimen			
	day1	備 考	
5 分 ※	メイン①生理食塩液50mL 1B		※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液250mLに希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
90 分 or 30 分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
30 分	側②グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V		
60 分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ()mg		
全開 (5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B		
			【レジメンシステム登録】 02005-1A Doc75+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録 02005-2A Doc75+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録

02006	乳 癌	Pacli w 療法	申請科 外科
-------	-----	------------	-----------

H22.5 改訂 H30.9 改訂 H31.1 改訂 R3.9 改訂 R6.10 改訂

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/㎡	div. (1h).	weekly
12 週連続 耐性になるまで <div data-bbox="995 790 1449 824">(外来)化療ベット予約:2 時間で登録</div>			
Regimen			
10 分	day1		備 考
	メイン①生理食塩液 100mL 1B ※デキサート注 ()mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A		※デキサート注 (初回) 1 週目 6.6mg 、 2 週目 3.3mg (3q 以降) 3 週目以降 1.65mg
	30 分 側①生理食塩液 50mL 1B		・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。
	60 分 側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液()mg		【レジメンシステム登録】 02006-5A Pacli w 療法(2 週目) ・2 週目のみのレジメン。DEX3.3mg
全開 (5 分)	側③生理食塩液 50mL 1B		02006-6A Pacli w 療法(3 週目) ・3 週目のみのレジメン。DEX1.65mg 02006-8A Pacli w 療法(1 週目) ・1 週目のみのレジメン。DEX6.6mg

02007	乳 癌	Pacli w 療法+トラスツズマブ	申請科 外科
-------	-----	--------------------	-----------

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/Kg 2回目以降 2mg/Kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※1	day1、8、15、22
パクリタキセル (paclitaxel)	80mg/m ²	div. (1h).	day1、8、15

再発・難治の場合:耐性になるまで

術前術後化学療法の場合:パクリタキセルとトラスツズマブを毎週投与(12 週)

(外来)化療ベット予約:day1,8,15 は 2 時間 30 分、day22 は 1 時間で登録

Regimen

<div>5 分</div> <div>※1</div> <div>90 分</div> <div>or</div> <div>30 分</div> <div>10 分</div> <div>30 分</div> <div>60 分</div> <div>全開</div> <div>(5 分)</div>	<div>day1、8、15</div> <div>メイン①生理食塩液50mL 1B</div> <div>側①生理食塩液 250mL 1B</div> <div>トラスツズマブ ()mg</div> <div>大塚蒸留水 100mL ()mL</div> <div>(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)</div> <div>メイン②生理食塩液 100mL 1B</div> <div>※2 デキサート注 ()mg</div> <div>ファモチジン注 20mg 1V</div> <div>ポララミン注 5mg 1V</div> <div>側②生理食塩液 50mL 1B</div> <div>側③5%ブドウ糖液 250mL 1B</div> <div>パクリタキセル点滴注液 ()mg</div> <div>側④生理食塩液 50mL 1B</div> <div>day22</div> <div>メイン①生理食塩液50mL 1B</div> <div>側①生理食塩液 250mL 1B</div> <div>トラスツズマブ ()mg</div> <div>大塚蒸留水 100mL ()mL</div> <div>(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)</div> <div>側②生理食塩液50mL 1B</div>	<div>・側②生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。(また、トラスツズマブと糖液の混合も回避)</div> <div>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。</div> <div>・蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg</div> <div>【レジメンシステム登録】</div> <div>02007-5A Pacli w 療法(1 週目)+トラスツズマブ(4mg) ・1 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 90 分、DEX6.6mg</div> <div>02007-6A Pacli w 療法(2 週目)+トラスツズマブ(2mg) ・2 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX3.3mg</div> <div>02007-7A Pacli w 療法(3 週目)+トラスツズマブ(2mg) ・3 週目のみのレジメン。トラスツズマブ 30 分、DEX1.65mg</div>
<div>備 考</div> <div>※1 トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</div> <div>※2 デキサート注 初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg</div>		

02008

乳 癌

TC療法

申請科

外科

H21.8 承認 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 **R3.5 改訂**

薬品名		1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ドセタキセル (docetaxel)		75mg/㎡	i. v. (1h以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)		600mg/㎡	i. v.	day1
3週毎 6回(標準4回)				
Regimen				
30分	day1 メイン①グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 2B			
60分	側①5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ()mg			
30分	側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン ()mg			
全開 (5分)	側③生理食塩液 50ml 1B		備考 【レジメンシステム登録】 02008-1A TC療法	

02009	乳 癌	トラスツズマブ	申請科 外科
-------	-----	---------	-----------

H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1 ケール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 4mg/kg 2回目以降 2mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	weekly(休薬なし)
耐性になるまで			
化療ベット予約:1時間で登録			
Regimen			
5 分 ※ 90 分 or 30 分 全開 (5 分)	Weekly day1		備 考 ※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 2mg/kg→0.095mL/kg 4mg/kg→0.190mL/kg 【レジメンシステム登録】 02009-1B トラスツズマブ(4mg)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録 02009-2B トラスツズマブ(2mg)(2q 以降) ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録
	メイン①生理食塩液50mL	1B	
	側①生理食塩液 250mL トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	1B	
	側②生理食塩液50mL	1B	

02010	乳 癌	トラスツズマブ(3w)	申請科 外科
-------	-----	-------------	-----------

平成 23 年 5 月登録 H27.7 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	Day1
3週毎			
化療ベット予約:1時間で登録			
Regimen			
5 分 ※ 90 分 or 30 分	day1 メイン①生理食塩液50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解 しています)	備 考 ※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好で あれば、2回目以降の投与時間は30分まで短 縮できる。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150m g:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理 食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/k	
全開 (5 分)	側②生理食塩液50mL 1B	【レジメンシステム登録】 02010-1B トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録 02010-2B トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録	

外科

薬品名		1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
アブラキサン (Paclitaxelアルブミン 懸濁型)		260mg/㎡	div(30分)	Day1
3 週毎 効果なくなるまで				
化療ベット予約: 1時間で登録				
Regimen				
5 分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
30 分	側①生理食塩液 () mL ※アブラキサン ()mg			
全開 (5 分)	側②生理食塩液 50mL 1B ※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食 塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{260\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$			
備 考				
※アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・投与時、インラインフィルターは使用しない。 【レジメンシステム登録】 02011-1B アブラキサン(3w)(乳)				

02012

乳癌

エリブリン(2投1休)

申請科

外科

H23.8 承認、H25.3 改訂(DEX 追加) H30.9 改訂 R6.10 改訂

薬 品 名		1回投与量		投与経路・時間		投与方法(1クール)	
ハラヴェン静注 (エリブリンメシル酸塩)		1. 4mg/㎡		div(2～5分)		Day1、8	
3 週毎 効果なくなるまで <div style="text-align: right;">化療ベット予約: 30 分で登録</div>							
Regimen							
<div>day1、8</div> <div> 10 分 メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V </div> <div> 5分 側①生理食塩液 50 mL 1B ハラヴェン静注 ()mg </div> <div> 全開 側②生理食塩液 50mL 1B (5 分) </div>							
				備 考			
				【レジメンシステム登録】 02012-1B エリブリン(2 投 1 休) ・投与時間 5 分で登録			

02013

乳癌

GEM(2 投 1 休)

申請科

外科

平成 22 年 5 月承認 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 **R3.5 改訂** 科別(乳腺)

薬 品 名		1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
ゲムシタビン (Gemcitabine)		1250mg/㎡	div(30分)	Day1、8 2投1休
2投1休 3週毎 効果なくなるまで <div style="text-align: right; color: red;">化療ベット予約:1時間30分で登録</div>				
Regimen				
	<div style="color: red;">day1、8</div> <div> 30分 メイン①グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 1V </div> <div> 30分 側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg </div> <div> 全開 側②生理食塩液 50mL 1B (5分) </div>			
		備 考		
		【レジメンシステム登録】 02013-1B GEM(2投1休)		

02015	乳癌	GEM(2 投 1 休)+トラスツズマブ(3w)	申請科 外科
-------	----	--------------------------	-----------

H23.5 登録 H27.7 改訂 H28.9 改訂 H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 科別(乳腺)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1 ケール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg	div 初回 90min以上 2回目以降 30min※	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/m ²	div(30分)	Day1、8 2投1休
3週毎 効果なくなるまで 化療ベット予約: day1 は 2 時間、day8 は 1 時間 30 分で登録			
Regimen			
<div> <div>5 分</div> <div>※</div> <div>90 分</div> <div>or</div> <div>30 分</div> </div> <div> <div>day1</div> <div>メイン①生理食塩液 50mL 1B</div> <div>側①生理食塩液 250mL 1B</div> <div>トラスツズマブ ()mg</div> <div>大塚蒸留水 100mL ()mL</div> <div>(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)</div> <div>側②グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B</div> <div>デキサート注 6. 6mg 1V</div> <div>側③5%ブドウ糖 100mL 1B</div> <div>ゲムシタビン点滴静注用 ()mg</div> <div>側④生理食塩液50mL 1B</div> </div> <div> <div>全開</div> <div>(5 分)</div> </div>	<div> <div>30 分</div> <div>day8</div> <div>メイン①グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B</div> <div>デキサート注 6. 6mg 1V</div> <div>側①5%ブドウ糖 100mL 1B</div> <div>ゲムシタビン点滴静注用 ()mg</div> <div>側②生理食塩液 50mL 1B</div> </div> <div> <div>全開</div> <div>(5 分)</div> </div>	<div>備 考</div> <div> ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg 【レジメンシステム登録】 02015-1B GEM(2 投 1 休)+トラスツズマブ(8mg)(3w) ・初回ケール用 ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録 02015-2B GEM(2 投 1 休)+トラスツズマブ(6mg)(3w) ・2 ケール目以降用 ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録 ・2018 年 6 月委員会にて投与順序変更を承認 GEM→トラスツズマブからトラスツズマブ→GEM へ変更 </div>	
備 考			
※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。			

02016	乳 癌	GEM+Pacli 療法	申請科 外科
-------	-----	--------------	-----------

H22年5月承認、H26年3月改訂 H28.9 改訂H29.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 R4.3 改訂

R6.10 改訂

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パクリタキセル (paclitaxel)	175mg/㎡	div. (180分).	Day1
ゲムシタビン (Gemcitabine)	1250mg/㎡	div(30分)	Day1、8
耐性になるまで、3 週毎 (外来)化療ベット予約: day1 は 4 時間 30 分、day8 は 1 時間で登録			
Regimen			
<div>15 分</div> <div>day1</div> <div>メイン①グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B</div> <div>デキサート注 6. 6mg 3V</div> <div>ファモチジン注20mg 1V</div> <div>ポララミン注 5mg 1A</div> <div>30 分</div> <div>側①生理食塩液 100mL 1B</div> <div>180 分</div> <div>側②5%ブドウ糖液 250mL 1B</div> <div>パクリタキセル点滴静注液 ()mg</div> <div>30 分</div> <div>側③5%ブドウ糖液 100mL 1B</div> <div>ゲムシタビン点滴静注用 ()mg</div> <div>全開</div> <div>側④生理食塩液 50mL 1B</div> <div>(5 分)</div>	<div>15 分</div> <div>day8</div> <div>メイン①グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B</div> <div>デキサート注 6. 6mg 1V</div> <div>側①5%ブドウ糖 100mL 1B</div> <div>ゲムシタビン点滴静注用 ()mg</div> <div>30 分</div> <div>側②生理食塩液 50mL 1B</div> <div>全 開</div> <div>(5 分)</div>	<div>備 考</div> <div>・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。</div> <div>【レジメンシステム登録】</div> <div>02016-2B GEM+Pacli</div>	

外科

H.27.7 改訂 H30.9 改訂 R3.10 改訂 科別(乳腺)

02017-1B VNR(2 投 1 休)

02019	乳 癌	VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(3w)	申請科 外科
-------	-----	--------------------------	-----------

H23.5 登録 H27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.10 改訂 科別(乳腺)

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab) ロゼウス静注液 (vinorelbine)	初回 8mg/Kg 2回目以降 6mg/Kg 25mg/m ²	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※ i.v.	Day1 Day1, 8
3週毎 耐性になるまで 化療ベット予約:day1 は 1 時間 30 分、day8 は 1 時間で登録			
Regimen			
<div>5 分</div> <div>※</div> <div>90 分</div> <div>or</div> <div>30 分</div> <div>5 分</div> <div>30 分</div>	<div>day1</div> <div>メイン①生理食塩液50mL 1B</div> <div>側①生理食塩液 250mL 1B</div> <div>トラスツズマブ ()mg</div> <div>大塚蒸留水 100mL ()mL</div> <div>(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)</div> <div>側②生理食塩液 50mL 1B</div> <div>ロゼウス静注液 ()mg</div> <div>側③生理食塩液 250mL 1B</div> <div>デキサート注 6. 6mg 2V</div> <div>ポート①生理食塩液 20mL 1本</div> <div>フラッシュ</div>	<div>day8</div> <div>5 分</div> <div>メイン①生理食塩液50mL 1B</div> <div>5 分</div> <div>側①生理食塩液 50mL 1B</div> <div>ロゼウス静注液 ()mg</div> <div>30 分</div> <div>側②生理食塩液 250mL 1B</div> <div>デキサート注 6. 6mg 2V</div> <div>ポート①生理食塩液 20mL 1本</div> <div>フラッシュ</div>	<div>備 考</div> <div>・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。</div> <div>・蒸留水は体重換算の量で登録</div> <div>6mg/kg→0.286mL/kg</div> <div>8mg/kg→0.381mL/kg</div> <div>【レジメンシステム登録】</div> <div>02019-1B</div> <div>VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回)</div> <div>・初回クール用</div> <div>・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録</div> <div>02019-2B</div> <div>VNR(2 投 1 休)+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降)</div> <div>・2 クール目以降用</div> <div>・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録</div>
	<div>備 考</div> <div>※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。</div>		

02020

乳 癌

ベバシズマブ(1/2w)+パクリタキセル(3投1休)

申請科

外科

H23.11 承認 H30.9 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂 R4.12 改訂 R6.10 改訂

薬品名		1回投与量		投与経路・時間		投与方法(1クール)	
パクリタキセル (paclitaxel)		90mg／m ²		div. (1h).		day1、8、15	
ベバシズマブ (Bevacizumab)		10mg／kg		div.(初回 90 分、2 回目 60 分、以後 30 分; 忍容性見ながら)		3投1休 day1、15	
4週毎 耐性になるまで (外来)化療ベット予約: day1,15 は 3 時間、day8 は 2 時間で登録							
Regimen							
day1、15				day8			
10 分	メイン①生理食塩液	100mL	1B	10 分	メイン①生理食塩液	100mL	1B
	※1 <u>デキサート注</u>	()mg			※1 <u>デキサート注</u>	()mg	
	ファモチジン注	20mg	1V		ファモチジン注	20mg	1V
	ポララミン注	5mg	1A		ポララミン注	5mg	1A
30 分	側①生理食塩液	50mL	1B	30 分	側①生理食塩液	50mL	1B
60 分	側②5%ブドウ糖液	250mL	1B	60 分	側②5%ブドウ糖液	250mL	1B
	パクリタキセル点滴静注液()mg			全開	パクリタキセル点滴静注液()mg		
全開 (5 分)	側③生理食塩液	50mL	1B	(5 分)	側③生理食塩液	50mL	1B
				備考			
※2				※1 デキサート注			
90 分	側④生理食塩液	100mL	1B	1週目6. 6mg、2週目3. 3mg、3週目1. 65mg			
60 分	ベバシズマブ	()mg		※2 ベバシズマブの投与時間;初回は 90 分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目 60 分、以後 30 分とする。			
30 分				・初回は入院のうえ、モニターを装着して行う。			
全開 (5 分)	側⑤生理食塩液	50mL	1B	・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。			
				【レジメンシステム登録】			
				02020-2B ベバシズマブ(1/2w)+パクリタキセル(3 投 1 休)			
				・ベバシズマブ投与時間			
				day1・15 とともに 90 分で登録			

外科

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エンドキサン (cyclophosphamide)	100mg/body	p. o.	day1～14
メソトレキセート (methotrexate)	40mg/m ²	i. v.	day1, 8
フルオロウラシル (5-FU)	500mg/m ²	i. v.	day1, 8
4週毎 術後補助:6クール 再発進行癌:耐性まで			
(外来)化療ベット予約:30分で登録			
Regimen			
内服	day1～14 エンドキサン錠(50) 2錠 分2朝・夕食後 14日分 day1, 8 メソトレキセート ()mg		
全開 (5分)	メイン①生理食塩液 50mL 1B		
全開 (5分)	側①生理食塩液 50mL 1B メソトレキセート ()mg		
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B フルオロウラシル注 ()mg		
全開 (5分)	側③生理食塩液 50mL 1B		
		備考	
		【レジメンシステム登録】 02021-1B CMF(original)(入院用) ・エンドキサンはレジメン内の処方に登録 02021-2B CMF(original)(外来用) ・エンドキサンは実施日に処方オーダー	

02022	乳 癌	CMF (modified)	申請科 外科
-------	-----	----------------	-----------

H28.6 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 R3.5 改訂 科別(乳腺)

薬 品 名		1回投与量		投与経路・時間		投与方法(1クール)	
エンドキサン (cyclophosphamide)		500mg／㎡		i. v.		day1, 8	
メソトレキセート (methotrexate)		40mg／㎡		i. v.		day1, 8	
フルオロウラシル (5－FU)		500mg／㎡		i. v.		day1, 8	
4週毎							
術後補助:6クール							
再発進行癌:耐性まで							
化療ベット予約:1時間 30 分で登録							
Regimen							
全開 (5 分)	day1, 8						
	メイン①グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B						
	20 分	側①生理食塩液 50mL 1B					
	30 分	側②生理食塩液 250mL 1B					
	20 分	側③生理食塩液 50mL 1B					
		メソトレキセート ()mg					
		エンドキサン注 ()mg		備 考			
		フルオロウラシル注 ()mg		【レジメンシステム登録】			
				02022-1B CMF(modified)			
全開 (5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B						

外科

H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.5 改訂 科別(乳腺)

・CPT-11 100mg/m²で入力登録

02024	乳 癌	Doc75+ペルツズマブ+トラスツズマブ (3w)	申請科
			外科

H25.10 登録 H27. 7 改訂 H30. 9 改訂 R2. 6 改訂 **R3. 5 改訂**

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パージェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min 以上) (2 回目以降30min)※	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min)※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	div. (1h以上)	day1
3週毎 耐性になるまで パージェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。 化療ベット予約: 3時間で登録			
Regimen			
day1			
5 分	メイン①生理食塩液50mL 1B	備 考 ※パージェタ・トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、 2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため前投薬(側③)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、 必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg 【レジメンシステム登録】 02024-1A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・Perjeta 投与時間 60 分で入力 ・トラスツズマブ投与時間 90 分で入力 02024-2A Doc75+Perjeta+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・Perjeta 投与時間 30 分で入力 ・トラスツズマブ投与時間 30 分で入力	
※			
60 分	側①パージェタ ()mg		
or	生理食塩液 250mL 1B		
30 分			
90 分	側②トラスツズマブ ()mg		
or	生理食塩液 250mL 1B		
30 分	大塚蒸留水 100mL 1B		
	(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
30 分	側③グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B		
	デキサート注 6. 6mg 1V		
60 分	側④5%ブドウ糖液 250mL 1B		
	ドセタキセル注 ()mg		
全開 (5 分)	側⑤生理食塩液 50mL 1B		

02027	乳 癌	カドサイラ療法	申請科 外科
-------	-----	---------	-----------

H26.5 登録、H28.9 改訂 H30.9 改訂 R4.10 改訂

薬 品 名		1回投与量		投与経路・時間		投与方法(1 ケール)	
カドサイラ (trastuzumab emtansine)		3. 6mg/kg		div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※		day1	
3週毎				化療ベット予約: 1時間で登録			
Regimen							
5 分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B						
※							
90 分	側①生理食塩液 250mL 1B						
or	カドサイラ ()mg						
30 分	大塚蒸留水100mL 1B			備 考			
	(カドサイラは必要量の蒸留水で溶解しています)			※カドサイラは初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる。			
全開 (5 分)	側②生理食塩液 50mL 1B			・インラインフィルター(0.2 又は 0.22 μm)を通して使用すること。			
				・カドサイラは蒸留水(100mg:5.0mL、160mg:8.0 mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mLに希釈する。			
				・蒸留水は体重換算の量で登録 3.6mg/kg→0.18mL/kg			
				【レジメンシステム登録】			
				02027-1A カドサイラ療法			
				・カドサイラ投与時間 90 分で登録			

02028

乳癌

エリ布林+トラスツズマブ療法

申請科

外科

H26.8 承認 H27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 科別(乳腺)

H 薬 品 名		1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)		初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	Day1
ハラヴェン静注 (エリ布林メシル酸塩)		1. 4mg/m ²	div(2~5分)	Day1、8
3 週毎 6 サイクル(効果のある限り) 化療ベット予約: day1は1時間、day8 は 30 分で登録				
Regimen				
5分 ※ 90分 or 30分	day1 メイン①生理食塩液50mL 1B			
	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)			
5分	メイン②生理食塩液 50mL 1B デキサート注 6.6mg 1V			
	側②生理食塩液 50 mL 1B ハラヴェン静注 ()mg			
全開 (5分)	側③生理食塩液50mL 1B			
5分	day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B デキサート注 6.6mg 1V			
	側①生理食塩液 50 mL 1B ハラヴェン静注 ()mg			
5分	側②生理食塩液 50mL 1B			

備 考

※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。

・エリ布林+トラスツズマブ療法終了後はトラスツズマブ療法(3w)を行う場合あり

・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mLに希釈する。

・蒸留水は体重換算の量で登録
6mg/kg→0.286mL/kg
8mg/kg→0.381mL/kg

【レジメンシステム登録】

02028-1B
エリ布林+トラスツズマブ療法(8mg)(3w)初回

02028-2B
エリ布林+トラスツズマブ療法(6mg)(3w)2q 以降

・Halaven 投与時間 5 分で登録

・トラスツズマブ投与時間
初回は 90 分、2q 以降は 30 分で登録

02029	乳 癌	Doc+CBDCA+トラスツズマブ (3W)療法	申請科 外科
-------	-----	-----------------------------	-----------

平成 26.9 登録 H.27.7改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3. 5 改訂 R3. 9 改訂 **R7. 6 改訂**

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1 ケル)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	div. (60min)	day1
カルボプラチン (carboplatin)	AUC=6	div. (60min)	day1

3週毎

化療ベット予約:3時間30分で登録

Regimen

	day1	備 考
5 分 ※	メイン①生理食塩液 50mL 1B	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。
90 分 30 分	側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)	・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の前投薬(側②)は側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
30 分	側②グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 2V	<CBDCA AUC≥4 中等度:推奨制吐剤> 現行に追加 アプレピタント処方する場合はデキサート 3.3mg(1.65mg2A)に変更 アプレピタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 day1 アプレピタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2、3 デカドロン錠 4mg 分1 day2、3
60 分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ()mg	・アプレピタント・デカドロンは内服処方オーダ
60 分	側④5%ブドウ糖液 250mL 1B カルボプラチン ()mg	【レジメンシステム登録】 ・カルボプラチンは 60 分で登録 ・トラスツズマブ投与時間
全開 (5 分)	側⑤生理食塩液50mL 1B	02029-1A Doc+CBDCA+トラスツズマブ(3W)(8mg)(初回) 90 分で登録 02029-2A Doc+CBDCA+トラスツズマブ(3W)(6mg)(2q 以降) 30 分で登録 ・2018 年 6 月委員会にて投与順序変更を承認 DTX→CBDCA→トラスツズマブから トラスツズマブ→DTX→CBDCA に変更 (乳癌診療ガイドライン参照)

02030	乳 癌	<u>ペルツズマブ+トラスツズマブ</u> <u>+Paclitaxel</u>	申請科 外科
-------	-----	---	-----------

H27.2 登録、H27.7 改訂、H28.9 改訂 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.9 改訂 R4.3 改訂 **R6.10 改訂**

H 薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
パージェタ (Pertuzumab)	初回 840mg 2回目以降 420mg	div. (初回60min 以上) (2 回目以降30min)※1	day1
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min)※1	day1
パクリタキセル (Paclitaxel)	80mg/m ²	div. (60分)	day1、8、15

3週毎、耐性になるまで
 パージェタ、トラスツズマブ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与して下さい。

(外来)化療ベット予約: day1 は 3 時間 30 分、day8,15 は 2 時間で登録

Regimen			
	day1		備 考
5 分	メイン①生理食塩液50mL	1B	※1 パージェタ・トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる。2 回目以降は 30 分で登録
60 分	側①生理食塩液 250mL	1B	
※1	パージェタ ()mg		
90 分	側②生理食塩液 250mL	1B	※2 デキサート注 初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg
※1	トラスツズマブ ()mg		
	大塚蒸留水 100mL ()mL		
	(トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)		
10 分	メイン②生理食塩液 100mL	1B	・day8・15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。
	※2 デキサート注 ()mg		
	ファモチジン注 20mg	1V	
	ポララミン注 5mg	1A	・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。
30 分	側③生理食塩液 50mL	1B	
60 分	側④5%ブドウ糖液 250mL	1B	
	パクリタキセル点滴静注液 ()mg		・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg
全開	側⑤生理食塩液 50mL	1B	
(5 分)	day8・15		
	メイン①生理食塩液 100mL	1B	【レジメンシステム登録】 02030-5A PHP(初回)(1 週目) DEX6.6mg 02030-6A PHP(初回)(2 週目) DEX3.3mg 02030-7A PHP (DEX1.65mg) ・初回の 3 週目及び 2q の 2 週目以降用 02030-8A PHP(2q 以降)(1 週目) DEX1.65mg
10 分	※2 デキサート注 ()mg		
	ファモチジン注 20mg	1V	
	ポララミン注 5mg	1A	
30 分	側①生理食塩液 50mL	1B	
60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL	1B	
	パクリタキセル点滴静注液 ()mg		
全開	側③生理食塩液 50mL	1B	
(5 分)			

02031

乳 癌

dose-denseEC 療法

申請科

外科

H28.10 承認 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 R3.5 改訂 R4.6 改訂 **R4.12 改訂**

薬 品 名		1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
エピルビシン塩酸塩 (epirubicin)		90mg／㎡	div.	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)		600mg／㎡	div.	day1
ジーラスタ皮下注 (Pegfilgrastim)		3.6mg	皮下	化学療法終了 24～72 時間後
2 週毎 術前・術後 4 クール エピルビシン 900mg／㎡まで 引き続きパクリタキセル療法を行うこともあり				
化療ベット予約：1 時間で登録				
Regimen				
15 分	day1 メイン①パロノセトン点滴静注バッグ 0.75mg 1B デキサート注 6.6mg 1V			
			備 考	
	5 分 側①生理食塩液 50mL 1B エピルビシン塩酸塩 ()mg		・支持療法はセット処方オーダー アプレタント 125mg 1CP 化学療法前 アプレタント 80mg 1CP 分 1 朝食後 day2,3 デカロン 0.5mg 8錠分 2 朝昼食後 day2～4 ロゼパム 0.5mg 2錠分 2 朝夕食後 day1 夕～day4 ハミン 5mg 3錠分 3 毎食後 day1 夕～day4	
	30 分 側②生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ()mg			
全開 (5 分)	側③生理食塩液 50mL 1B		・ペグフィルグラスチムは未登録。 外来予約注射でオーダーする。 抗がん剤投与終了後、24 時間以降 4 日後位 (day2～5)までに皮下注射する。	
皮下	day2～5のうちに1回投与 ジーラスタ皮下注 3.6mg 1 本		【レジメンシステム登録】 02031-1A dose-denseEC 療法	

02032	乳 癌	TC+トラスツズマブ(3w)	申請科 乳腺外科
-------	-----	----------------	-------------

H30.6 登録 H30.9 改訂 R2.6 改訂 R3.2 改訂 R3.5 改訂

薬 品 名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
トラスツズマブ (trastuzumab)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回目以降30min) ※	day1
ドセタキセル (docetaxel)	75mg/m ²	div. (1h 以上)	day1
エンドキサン (cyclophosphamide)	600mg/m ²	div. (15min 以上)	day1
3週毎 4クール			
化療ベット予約: day1 は 3 時間で登録			
Regimen			
5 分 ※ 90 分 or 30 分	day1 メイン①生理食塩液50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解 しています)	備 考	
30 分	側②グラニセロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6.6mg 2V グラニセロン注 1mg 1A	※トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好で あれば、2回目以降の投与時間は30分まで短 縮できる。 ・トラスツズマブと糖液は混合不可のため day1 の 前投薬(側②)は側管から投与。 ・TC+トラスツズマブ(3w)療法終了後はトラスツ ズマブ療法(3w)を計 1 年間になるように施行 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150m g:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理 食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg	
60 分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B ドセタキセル ()mg		
30分	側④生理食塩液 250mL 1B エンドキサン注 ()mg	【レジメンシステム登録】 02032-1A TC+トラスツズマブ(8mg)(3w)(初回) ・トラスツズマブ投与時間 90 分で登録 02032-2A TC+トラスツズマブ(6mg)(3w)(2q 以降) ・トラスツズマブ投与時間 30 分で登録	
全開 (5 分)	側⑤生理食塩液50mL 1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02033	共通	乳癌	アテゾリズマブ+nab-Paclitaxel 療法	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; 0 ~ 1 (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クルールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬 品 名		1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)
テセントリク (atezolizumab)		840 mg/body	div (初回 60min) (2 回目以降 30min)	Day1,15
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)		100mg/m ²	div(30min)	Day1,8,15
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		4 週毎	化療ベット予約: day1,15 は 2 時間、 day8 は 1 時間で登録	
Radiation 併用 無		1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL) = $\frac{100\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積}}{100\text{mg}} \times 20\text{mL}$
5 分 ※	day1、15 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
60 分	側①テセントリク 840mg 1V 生理食塩液 250mL 1B			備 考 ※テセントリクは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる。 ・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。 ・基本的に前投薬は行わないが、サイクル 1 で infusion reaction が発現した場合、抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン)の前投薬を考慮。 ・テセントリクはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。 (アブラキサンはフィルターを通さないこと) 【レジメンシステム登録】 02033-1A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(初回) アテゾリズマブ投与時間 D1 のみ 60 分で登録 02033-2A アテゾリズマブ+ nab-Paclitaxel 療法(2q以降) アテゾリズマブ投与時間 30 分で登録
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B			
5 分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 50mL 1B			
30 分	側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 () mL ※アブラキサン ()mg			
全開 (5分)	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 50mL 1B			
5 分	day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
30 分	側①生理食塩液()mL アブラキサン()mg			
全開 (5分)	側②生理食塩液 50mL 1B			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科		
02034-1A~8A	共通	乳がん	トラスツズマブ(3w)+パクリタキセル療法	乳腺外科		
適応患者						
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; ~ 薬 (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()			
剤の量・経路・時間・1クルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クル数)、化療ベット時間						
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クル)			
トラスツズマブ (Trastuzumab:TRZ)	初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div. (初回90min 以上) (2 回 目 以 降 3 0 min)※1	day1			
パクリタキセル(Paclitaxel:PTX)	80mg/m ²	div. (60分)	day1、8、15			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3 週毎 術前・術後:PTX12 週、TRZ1 年 進行・再発:耐性になるまで		化療ベット予約:day1 は 3 時間 30 分、 day8,15 は 2 時間で登録			
Radiation 併用 無	1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr			
レジメン						
投与時間	投与日及び投与ルート		備考			
5 分	day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B		※1 トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2 回目以降の投与時間は 30 分まで短縮できる。2 回目以降は 30 分で登録 ※2 デキサート注 初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg ・day8・15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。 ・トラスツズマブは蒸留水(60mg:3.0mL、150mg:7.2mL)で溶解し、必要量を抜き取り、生理食塩液 250mL に希釈する。 ・蒸留水は体重換算の量で登録 6mg/kg→0.286mL/kg 8mg/kg→0.381mL/kg 【レジメンシステム登録】 02034-5A トラスツズマブ(3w)+パクリタキセル(←以下 HP) (1q 目)(1 週目) DEX6.6mg 02034-6A HP(3w) (1q 目)(2 週目) DEX3.3mg 02034-7A HP(3w) (DEX1.65mg) ・初回の 3 週目及び 2q の 2 週目以降用 02034-8A HP(3w) (2q 以降)(1 週目) DEX1.65mg			
90 分	側①生理食塩液 250mL 1B					
※1	トラスツズマブ ()mg 大塚蒸留水 100mL ()mL (トラスツズマブは必要量の蒸留水で溶解しています)					
10 分	メイン②生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ()mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A					
30 分	側②生理食塩液 50mL 1B					
60 分	側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ()mg					
全開 (5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B					
10 分	day8・15 メイン①生理食塩液 100mL 1V ※2 デキサート注 ()mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A					
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B					
60 分	側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ()mg					
全開 (5 分)	側③生理食塩液 50mL 1B					

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科		
02035-1A~2A	共通	乳がん	ドーズデンスパクリタキセル療法	乳腺外科		
適応患者						
病期(stage); PS; ~ (まで)	I IIa IIb IIIa IIIb IV	<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()				
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間						
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)			
パクリタキセル (Paclitaxel:PTX)	175mg/m ²	div.	day1			
ジーラスタ皮下注	3.6mg	皮下注	化学療法終了 2-5 日後			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	2 週毎・4 回	化療ベット予約: 4 時間で登録				
Radiation 併用 有・ 無	1回 Gy×	日、Total	Gy×	Fr		
レジメン						
投与時間	投与日及び投与ルート					
10 分	day1 ① 生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 3V ファモチジン注 20mg 1V ポラミン注 5mg 1A		備 考			
30 分	側① 生理食塩液 50mL 1B		・側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。 ・ペグフィルグラスチムは未登録。 外来予約注射でオーダーする。 抗がん剤投与終了後、24 時間以降 4 日後位(day2~5)までに皮下注射する。 【レジメンシステム登録】 02035-2A ドーズデンスパクリタキセル療法			
180 分	側② 5%ブドウ糖液 500mL 1B パクリタキセル点滴静注 ()mg					
全開 (5 分)	側③ 生理食塩液 50mL 1B					
皮下	day2~5のうちに1回投与 ザラスタ皮下注 3.6mg 1本					

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02036	共通	乳癌	<u>ペムブロリズマブ+ゲムシタビン+ カルボプラチン療法(3週間間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; ~ (まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他(PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)		
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg/body	div(30分)	Day1	
ゲムシタビン (Gemcitabin)	1000mg/m ²	div(30分)	Day1、8	
カルボプラチン (carboplatin)	AUC2	div(1時間)	Day1、8	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3週毎・回	化療ベット予約:Day1:2時間30分 Day 8:2時間で登録		
Radiation 併用 有・ 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr			
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
5分 30分 5分	Day 1 メイン①生食 50mL 1B 側①生食 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V 側②生食 50mL 1B		5分	Day 8 メイン ① グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V
			30分	側①5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg
			1時間	側②生理食塩液 250mL 1B カルボプラチン ()mg
			5分	側③生理食塩液 50mL 1B
	メイン② グラニセトロン点滴静注バッグ 1mg 1B デキサート注 6. 6mg 1V		備考	
30分	側③5%ブドウ糖液 100mL 1B ゲムシタビン点滴静注用 ()mg		・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること ・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること	
1時間	側④生理食塩液 250mL 1B カルボプラチン ()mg		・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。	
5分	側⑤生理食塩液 50mL 1B		【レジメンシステム登録】 02036-1A ペムブロリズマブ+ゲムシタビン+ カルボプラチン療法(3週間間隔)	
備考				
・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科		
02037	共通	乳がん	ペムブロリズマブ(3週間隔)+パクリタキセル療法(12週間隔)	乳腺外科		
適応患者						
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; ~ (まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他(PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)				
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間						
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)			
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg /body	div(30分)	Day1、22、43、64 84 日毎			
パクリタキセル (Paclitaxel:PTX)	90mg/m ²	div(60分)	Day1、8、15、29、36、43、 57、64、71 84 日毎			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12 週毎・回	化療ベット予約: ペムブロリズマブ単独日: 1 時間、 ペムブロリズマブ+パクリタキセル併用日: 2 時間 30 分、 パクリタキセル単独日: 2 時間で登録				
Radiatio 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy×	日、Total Gy×	Fr			
レジメン						
投与時間	投与日及び投与ルート		Day22			
5 分	<u>Day1、43、64</u>		5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B		
30 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B		30 分	側①生理食塩液 100mL 1B		
	側①生理食塩液 100mL 1B			キイトルーダ 100mg 2V		
	キイトルーダ 100mg 2V		5 分	側②生理食塩液 50mL 1B		
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B		※レジメンシステムは 12 週で登録			
10 分	メイン①生理食塩液 100mL 1B		備 考			
	※デキサート注 ()mg		・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5 μ m)を使用すること ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること ・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キ イトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイ ン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者 の状態を十分に観察すること。 ※デキサート注 初回 6. 6mg、2回目3. 3mg、 3回目以降1. 65mg ・PTX 投与時の側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。			
	ファモチジン注 20mg 1V					
	ポララミン注 5mg 1A					
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B					
60 分	側②大塚糖液5% 250mL 1B					
	パクリタキセル点滴静注液()mg					
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL 1B					
	<u>Day8、15、29、36、57、71</u>					
10 分	メイン①生理食塩液 100mL 1B					
	※デキサート注 ()mg					
	ファモチジン注 20mg 1V					
	ポララミン注 5mg 1A					
30 分	側①生理食塩液 50mL 1B					
60 分	側②大塚糖液5% 250mL 1B					
	パクリタキセル点滴静注液()mg					
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL 1B					

【レジメンシステム登録】

02037-1A ペムブロリズマブ(3 週間隔)＋パクリタキセル療法(12 週
間隔)1 クール目

02037-2A ペムブロリズマブ(3 週間隔)＋パクリタキセル療法(12 週
間隔)2 クール目以降

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科		
02038	共通	乳がん	ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔) +パクリタキセル療法(12週間間隔)	乳腺外科		
適応患者						
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; ~ (まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他(PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)				
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベツト時間						
薬品名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)			
キイトルーダ (Pembrolizumab)	400mg /body	div(30分)	Day1、43 84日毎			
パクリタキセル (Paclitaxel:PTX)	90mg/m ²	div(60分)	Day1、8、15、29、36、43、57、 64、71 84日毎			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12週毎・回	化療ベツト予約: ペムブロリズマブ+パクリタキセル併用日:2時間30分、 パクリタキセル単独日:2時間で登録				
Radiation 併用 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr					
レジメン						
投与時間	投与日及び投与ルート		※レジメンシステムは12週で登録			
	<u>Day1、43</u>		備 考			
5分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	・ペムブロリズマブ(3週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)で忍容性確認後、ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔)のレジメンに移行する。 ・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター(0.2~5μm)を使用すること ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は1~10mg/mLとなるように調製すること ・キイトルーダは30分間かけて点滴静注すること ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。 ※デキサート注 初回 6.6mg、2回目3.3mg、3回目以降1.65mg ・PTX 投与時の側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30分)を調節するため側管から投与。 【レジメンシステム登録】 02038-1A ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)1クルル目 02038-2A ペムブロリズマブ(400mg6週間間隔)+パクリタキセル療法(12週間間隔)2クルル目以降			
30分	側①生理食塩液 100mL	1B				
	キイトルーダ 100mg	4V				
5分	側②生理食塩液 50mL	1B				
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B				
	※デキサート注 ()mg					
	ファモチジン注 20mg	1V				
	ポララミン注 5mg	1A				
30分	側①生理食塩液 50mL	1B				
60分	側②5%ブドウ糖液 250mL	1B				
	パクリタキセル点滴静注液()mg					
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL	1B				
	<u>Day8、15、29、36、57、64、71</u>					
10分	メイン①生理食塩液 100mL	1B				
	※デキサート注 ()mg					
	ファモチジン注 20mg	1V				
	ポララミン注 5mg	1A				
30分	側①生理食塩液 50mL	1B				
60分	側②5%ブドウ糖 250mL	1B				
	パクリタキセル点滴静注液()mg					
全開(5分)	側③生理食塩液 50mL	1B				

R4.3 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02039	共通	乳がん	ペムブロリズマブ (3 週間隔) + nab-Paclitaxel 療法 (12 週間隔)	乳腺外科
適応患者				
病期(stage) ; I IIa IIb IIIa IIIb IV P S ; ~ (まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性)	
薬剤の量・経路・時間・1 クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数 (クール数)、化療ベット時間				
薬 品 名	1 回 (1 日) 投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 クール)	
キイトルーダ (Pembrolizumab)	200mg /body	div (3 0 分)	Day1、22、43、64 84 日毎	
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)	100mg/m ²	div (6 0 分)	Day1、8、15、29、36、43、 57、64、71 84 日毎	
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	12 週毎・回	化療ベット予約：ペムブロリズマブ単独日：1 時間、 ペムブロリズマブ+アブラキサン併用日：1 時間 30 分、 アブラキサン単独日：1 時間で登録		
Radiation 併用 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1 回 Gy ×	日、 Total	Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート	投与時間	投与日及び投与ルート	
5 分	<u>Day1、43、64</u> メイン①生理食塩液 5 0 mL 1B	5 分	<u>Day8、15、29、36、57、71</u> メイン①生理食塩液 5 0 mL 1B	
30 分	側①生理食塩液 1 0 0 mL 1B キイトルーダ 1 0 0 m g 2 V	30 分	側①生理食塩液 () ※アブラキサン () m g	
5 分	側②生理食塩液 50ml 1B	全開	側②生理食塩液 5 0 mL 1B	
5 分	側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 5 0 mL 1B	(5 分)		
30 分	側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 () mL ※アブラキサン () m g		※アブラキサン 100m g (1V) あたり生理 食塩液 20m L で溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量 (m L) = $\frac{100\text{m g}}{\text{m}^2} \times \text{体表面積} \times 20\text{mL}$	
全開 (5 分)	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 5 0 mL 1B			
	<u>Day22</u>			
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B	備 考		
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V	・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5 μ m) を使用すること ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL と なるように調製すること ・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること		
全開 (5 分)	側②生理食塩液 50mL 1B			

・キイトルーダにより **infusion reaction** が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。

・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。

・キイトルーダはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。

(アブラキサンはフィルターを通さないこと)

【レジメンシステム登録】

02039-1A

ペムブロリズマブ (3 週間隔) + nab-Paclitaxel 療法
(12 週間隔)

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02040	共通	乳がん	ペムブロリズマブ（400mg6 週間隔） +nab-Paclitaxel 療法（12 週間隔）	乳腺外科
適応患者				
病期(stage)； I IIa IIb IIIa IIIb IV P S； ～ （ まで）			<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input checked="" type="checkbox"/> その他（PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性）	
薬剤の量・経路・時間・1 クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数（クール数）、化療ベット時間				
薬 品 名		1 回（1 日）投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 クール)
キイトルーダ (Pembrolizumab)		400mg /body	div（3 0 分）	Day1、43 84 日毎
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン懸濁型)		100mg/m ²	div（6 0 分）	Day1、8、15、29、36、43、 57、64、71 84 日毎
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		12 週毎・回	化療ベット予約： ペムブロリズマブ+アブラキサン併用日：1 時間 30 分、 アブラキサン単独日：1 時間で登録	
Radiation 併用 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		1 回 Gy ×	日、 Total Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		投与時間	投与日及び投与ルート
5 分 30 分 5 分 5 分 30 分	<u>Day1、43</u> メイン①生理食塩液 5 0 mL 1B 側①生理食塩液 1 0 0 mL 1B キイトルーダ 1 0 0 m g 4V 側②生理食塩液 50ml 1B 側③(側②終了後、側②と別ルートで) 生理食塩液 5 0 mL 1B 側④(側③と同一ルートから) 生理食塩液 () mL ※アブラキサン () m g		5 分 30 分 全開 (5 分)	<u>Day8、15、29、36、57、64、71</u> メイン①生理食塩液 5 0 mL 1B 側①生理食塩液 () ※アブラキサン () m g 側②生理食塩液 5 0 mL 1B
	側⑤(側④終了後、側④と同一ルートから) 生理食塩液 5 0 mL 1B			
	※アブラキサン 100m g（1V）あたり生 理食塩液 20m L で溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量（m L）＝ 100m g / m ² × 体表面積 × 20m L 100mg			
全開 (5 分)			備 考 ・ ペムブロリズマブ（3 週間間隔）+nab-Paclitaxel 療法（12 週間 隔）で忍容性確認後、ペムブロリズマブ（400m g 6 週間間隔）の レジメンに移行する。 ・ キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター（0.2～5 μ m）を使用すること ・ キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1～10mg/mL とな るように調製すること ・ キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること	
・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるた め、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後				

<p>バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること。</p> <p>・アブラキサンは特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、同意を得てから使用する。</p> <p>・キイトルーダはインラインフィルターを通す必要があるため、アブラキサンとは別ルートで投与すること。</p> <p>(アブラキサンはフィルターを通さないこと)</p> <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>02040-1A ペムブロリズマブ(400mg 6週間隔) + nab-Paclitaxel 療法(12週間隔)</p>	
---	--

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科		
02041-1A	共通	再発または転移性乳癌	<u>ナブパクリタキセル(毎週)+ベバシズマブ療法</u>	乳腺外科		
適応患者						
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb <u>IIIc</u> <u>IV</u> PS;0~1(まで)		<input type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()				
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間						
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)			
アブラキサン (Paclitaxel アルブミン 懸濁型)	100mg/m ²	div(30 分)	day1,8,15			
ベバシズマブ (Bevacizumab)	10mg/kg	div(初回 90 分、2 回目 60 分、 以降 30 分;忍容性みながら)	day1,15			
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	4 週毎 可能なかぎり継続	化療ベット予約:day1,15 は 1.5 時間、day8 は 1 時間で登録				
Radiation 併用 有(無)	1回 Gy× 日、Total Gy× Fr					
レジメン						
投与時間	投与日及び投与ルート	5 分	day8 メイン①生理食塩液 50mL 1B			
5 分	day1、15 メイン①生理食塩液 50mL 1B	30 分	側①生理食塩液 ()mL ※アブラキサン()mg			
30 分	側①生理食塩液 ()mL ※アブラキサン()mg	全開(5 分)	側②生理食塩液 50mL 1B			
5 分	側②生理食塩液 50mL 1B	備 考				
※1 90 分 60 分 30 分	側③生理食塩液 100mL 1B ベバシズマブ ()mg	※1 ベバシズマブの投与時間:初回は 90 分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目 60 分、以降 30 分とする。 ・アブラキサン注は特定生物由来製品であるため、使用にあたっては、その旨を患者に説明し、特定生物由来製品使用同意書を得る。 ・投与時、インラインフィルターは使用しない。				
全開(5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B ※アブラキサン 100mg(1V)あたり生理食塩液 20mLで溶解し懸濁液に調製 懸濁液の抜き取り量(mL)= $\frac{100\text{mg}}{100\text{mg}} \times \text{体表面積} \times 20\text{mL}$	【レジメンシステム登録】 02041-1A ナブパクリタキセル(毎週)+ベバシズマブ療法 ・ベバシズマブ投与時間 day1,15 とともに 90 分で登録				

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02042-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ+パクリタキセル</u> <u>+カルボプラチン(3 週間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS;0~1(まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間				
薬 品 名		1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)
キイトルーダ (Pembrolizumab)		200mg/body	div(30 分)	day1
パクリタキセル (Paclitaxel)		80mg/m ²	div(60 分)	day1、8、15
カルボプラチン (Carboplatin)		AUC5	div(30 分)	day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		3 週毎・4 回	化療ベット予約:Day1:3 時間、Day8、15:2 時間で登録	
Radiation 併用 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		1回 Gy× 日、Total Gy× Fr		
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート		30 分	側①生理食塩液 50mL 1B
	day1		60 分	側②大塚糖液 5% 250mL 1B パクリタキセル () mg
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B		5 分(全開)	側③生理食塩液 50mL 1B
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V		備 考	
5 分(全開)	側②生理食塩液 50mL 1B		・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5μm) を使用すること	
10 分	メイン②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V ファモチジン注 20mg 1V ボララミン注 5mg 1A		・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること	
30 分	メイン③パロセトン点滴静注パッヅ 0.75mg 1B		・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること	
60 分	側③大塚糖液 5% 250mL 1B パクリタキセル () mg		・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること	
30 分	側④大塚糖液 5% 250mL 1B カルボプラチン () mg		・パクリタキセル投与時の day8、15 の側①生食はドリップアイを使用し、滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与	
5 分(全開)	側⑤生理食塩液 50mL 1B		・アブレピタント・デカドロンは内服処方オーダー アブレピタント処方する場合はデキサート 3.3mg (1.65mg 2A) に変更推奨	
	day8、15		アブレピタント 125mg 1CP 分 1 化学療法前 day1 アブレピタント 80mg 1CP 分 1 朝食後 day2、3 デカドロン錠 0.5mg 8 錠 分 2 朝昼食後 day2~4	
10 分	メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V ファモチジン注 20mg 1V ボララミン注 5mg 1A		【レジメンシステム登録】 02042-1A ペムブロリズマブ+パクリタキセル +カルボプラチン(3 週間隔)	

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02043-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ+パクリタキセル</u> <u>+カルボプラチン(1 週間隔)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS;0~1(まで)			<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベツ時間				
薬 品 名		1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1 クール)
キイトルーダ (Pembrolizumab)		200mg/body	div(30 分)	day1
パクリタキセル (Paclitaxel)		80mg/m ²	div(60 分)	day1、8、15
カルボプラチン (Carboplatin)		AUC1.5	div(30 分)	day1、8、15
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		3 週毎・4 回	化療ベツ予約:Day1:3 時間、Day8、15:2.5 時間で登録	
Radiation 併用 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		1回 Gy ×	日、Total Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			30 分 メイン②グラニセトロン点滴注バッグ 1B
				60 分 側①大塚糖液 5% 250mL 1B パクリタキセル () mg
5 分	メイン①生理食塩液 50mL 1B			30 分 側②大塚糖液 5% 250mL 1B カルボプラチン () mg
30 分	側①生理食塩液 100mL 1B キイトルーダ 100mg 2V			5 分(全開) 側③生理食塩液 50mL 1B
5 分(全開)	側②生理食塩液 50mL 1B			備 考 ・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5 μ m) を使用すること ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL と なるように調製すること ・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあ るため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終 了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和 度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること ・デカドロン錠は適宜内服処方オーダー デカドロン錠 4mg 2 錠 分 2 朝昼食後 day2~4 【レジメンシステム登録】 02043-1A ペムブロリズマブ+パクリタキセル +カルボプラチン(1 週間隔)
10 分	メイン②生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V ファモチジン注 20mg 1V ボララミン注 5mg 1A			
30 分	メイン③グラニセトロン点滴注バッグ 1B			
60 分	側③大塚糖液 5% 250mL 1B パクリタキセル () mg			
30 分	側④大塚糖液 5% 250mL 1B カルボプラチン () mg			
5 分(全開)	側⑤生理食塩液 50mL 1B			
	day8、15			
10 分	メイン①生理食塩液 100mL 1B デキサート注 6.6mg 1V ファモチジン注 20mg 1V ボララミン注 5mg 1A			

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科				
02044-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ+EC</u>	乳腺外科				
適応患者								
病期(stage); I <table><tr><td>IIa</td><td>IIb</td><td>IIIa</td><td>IIIb</td></tr></table> IV PS:0~1(まで)			IIa	IIb	IIIa	IIIb	<input type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
IIa	IIb	IIIa	IIIb					
薬剤の量・経路・時間・1クルルの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クルル数)、化療ベット時間								
薬 品 名		1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クルル)				
キイトルーダ (Pembrolizumab)		200mg/body	div(30 分)	day1				
エピルビシン塩酸塩 (Epirubicin)		90mg/m ²	div(5 分)	day1				
エンドキサン (Cyclophosphamide)		600mg/m ²	div(30 分)	day1				
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		3 週毎・4 回	化療ベット予約: 1 時間 30 分					
Radiation 併用 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		1回 Gy× 日、Total Gy× Fr						
レジメン								
投与時間	投与日及び投与ルート							
5 分 30 分 5 分(全開) 15 分 5 分 30 分 5 分(全開)	day1							
	メイン①生理食塩液	50mL	1B	備 考 ・原則、ペムブロリズマブ+PTX+CBDCA 4 サイクル投与後に使用 ・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2~5 μ m) を使用すること ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1~10mg/mL となるように調製すること ・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること ・患者リスクに応じてペグフィルグラスチムの投与を考慮 (外来予約注射でオーダ・抗がん剤投与終了後 24 時間以降 4 日後くらい(day2~5)までに皮下注射する) ・支持療法はセット処方でオーダ アプレミタント 125mg 1CP 分1 化学療法前 アプレミタント 80mg 1CP 分1 朝食後 day2, 3 デキサメタゾン錠 0.5mg 8錠 分2 朝昼食後 day2-4 ロゼベラム錠 0.5mg 2錠 分2 朝夕食後 day1 ター-day4 ハキシ錠 5mg 3錠 分3 毎食後 day1 ター-day4 【レジメンシステム登録】 02044-1A ペムブロリズマブ+EC				
	側①生理食塩液	100mL	1B					
	キイトルーダ	100mg	2V					
	側②生理食塩液	50mL	1B					
	メイン②パロリトロン点滴静注バッグ	0.75mg	1B					
	デキサート注	6.6mg	1B					
	側③生理食塩液	50mL	1B					
エピルビシン塩酸塩 () mg								
側④生理食塩液	250mL	1B						
エンドキサン () mg								
側⑤生理食塩液	50mL	1B						

R4.12 登録

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02045-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	<u>ペムブロリズマブ（術後）(3w)(乳癌)</u>	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS; 0~1(まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input type="checkbox"/> neoadjuvant <input type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬 品 名		1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)
キイトルーダ (Pembrolizumab)		200mg/body	div(30 分)	day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		3 週毎・9 回	化療ベット予約: 1 時間	
Radiation 併用 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		1回 Gy × 日、Total	Gy ×	Fr
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
			備 考	
5 分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	・ 術前薬物療法として、キイトルーダ併用療法を行った場合に、術後療法として投与 ・ キイトルーダは 200mg (3 週毎・9 回) と 400mg(6 週毎・5 回)を投与開始時に選択、途中で切り替え可能 ・ キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2～5μm) を使用すること ・ キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1～10mg/mL となるように調製すること ・ キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること ・ キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること 【レジメンシステム登録】 02045-1A ペムブロリズマブ(術後) (3w) (乳癌)	
30 分	側①生理食塩液 100mL	1B		
	キイトルーダ 100mg	2V		
5 分(全開)	側②生理食塩液 50mL	1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科
02046-1A	共通	ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の再発高リスク乳癌	ペムブロリズマブ(術後)(6w)(乳癌)	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IV PS;0~1(まで)			■adjuvant □ neoadjuvant □再発・進行 □ その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クール of 投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬 品 名		1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)
キイトルーダ(Pembrolizumab)		400mg/body	div(30 分)	day1
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		6 週毎・5 回	化療ベット予約: 1 時間	
Radiation 併用 有・ 無		1回 Gy× 日、Total Gy× Fr		
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
	day1			
5 分	メイン①生理食塩液 50mL	1B	備 考 ・術前薬物療法として、キイトルーダ併用療法を行った場合に、術後療法として投与 ・キイトルーダは 200mg (3 週毎・9 回) と 400mg(6 週毎・5 回)を投与開始時に選択、途中で切り替え可能 ・キイトルーダ投与にあたり、インラインフィルター (0.2～5μm) を使用すること ・キイトルーダ希釈後の点滴溶液中の最終濃度は 1～10mg/mL となるように調製すること ・キイトルーダは 30 分間かけて点滴静注すること ・キイトルーダにより infusion reaction が発現することがあるため、キイトルーダとして初回投与時は投与中及び投与終了後バイタルサイン(体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度)をモニターする等、患者の状態を十分に観察すること 【レジメンシステム登録】 02046-1A ペムブロリズマブ(術後)(6w)(乳癌)	
30 分	側①生理食塩液 100mL キイトルーダ 100mg	1B 4V		
5 分(全開)	側②生理食塩液 50mL	1B		

コード	分類	病名	レジメン名称	申請科					
2048	共通	HER2 陽性乳癌	フェスゴ配合皮下注療法	乳腺外科					
適応患者									
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IIIc IV PS; 0 ~ 1 (まで)			<input checked="" type="checkbox"/> adjuvant <input checked="" type="checkbox"/> neoadjuvant <input checked="" type="checkbox"/> 再発・進行 <input type="checkbox"/> その他()						
薬剤の量・経路・時間・1クールの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間									
薬 品 名	1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)						
フェスゴ配合皮下注 (Pertuzumab:Per) (Trastuzumab:TRZ) (Vorhyaluranidase Alfa:VA)	初回: フェスゴ IN (Per:1200mg、 TRZ:600mg、 VA:30000U) 2回目以降: フェスゴ MA (Per:600mg、 TRZ:600mg、 VA:20000U)	皮下注射(大腿部) 初回:8分以上かけて 2回目以降:5分以上かけて	Day1						
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)	3 週毎 ・回 術前・術後療法: 12 か月まで 進行再発: 効果がある限り継続	化療ベット予約: 0.5 時間で登録							
Radiation 併用 有 ・ 無	1回 Gy × 日、Total Gy × Fr								
レジメン									
投与時間	投与日及び投与ルート	備 考							
初回 8 分以上 2 回 目 以 降 5 分 以 上	Day1 フェスゴ皮下注 初回 フェスゴ配合皮下注 IN 15mL 2回目以降 フェスゴ配合皮下注 MA 10mL ※薬剤部でシリンジに採取し、 ニプロ コンビキャップを装着し、払出し	・初回投与時は、8 分以上かけて大腿部に皮下投与 ・2 回目以降は、5 分以上かけて大腿部に皮下投与 ・予定された投与が遅れた場合は、以下のとおり投与することが望ましい。 前回投与日から6週間未満のとき: 維持投与量(フェスゴ配合皮下注 MA) 前回投与日から6週間以上のとき: 改めて初回投与量(フェスゴ配合皮下注 IN)を投与し、次回以降は維持投与量を 3 週間間隔で投与 【レジメンシステム登録】 2048-1A:【初回】フェスゴ配合皮下注 IN 2048-2A:フェスゴ配合皮下注 MA(維持)							
コード	分類	病名	レジメン名称	申請科					

2049	共通	HER2 陽性乳癌	PTX+フェスゴ配合皮下注	乳腺外科
適応患者				
病期(stage); I IIa IIb IIIa IIIb IIIc IV PS; 0 ~ 1 (まで)			■adjuvant ■ neoadjuvant ■再発・進行 □その他()	
薬剤の量・経路・時間・1クールでの投与方法・インターバル日数、最大投与回数(クール数)、化療ベット時間				
薬 品 名		1回(1日)投与量	投与経路及び時間	投与方法(1クール)
フェスゴ配合皮下注 (Pertuzumab:Per) (Trastuzumab:TRZ) (Vorhyaluranidase Alfa:VA)		初回: フェスゴ IN (Per:1200mg TRZ:600mg VA:30000U) 2回目以降: フェスゴ MA (Per:600mg TRZ:600mg VA:20000U) 80mg/m²	皮下注射(大腿部) 初回:8分以上かけて 2回目以降:5 分以上かけて	Day1 Day1、8、15
インターバル日数・ 最大投与回数(End point)		3 週毎 ・回 術前・術後療法: 12 か月まで 進行再発: 効果がある限り継続	化療ベット予約: Day1 は 2 時間 30 分 Day8.15 は 2 時間で登録	
Radiatio 併用 有・ 無		1回 Gy × 日、Total Gy × Fr		
レジメン				
投与時間	投与日及び投与ルート			
ルートキープ (2 時間) 初回 8 分以上 2 回目以降 5 分以上	day1 メイン①生理食塩液 100mL 1B ①フェスゴ皮下注 初回 フェスゴ配合皮下注 IN 15mL 2回目以降 フェスゴ配合皮下注 MA 10mL ※薬剤部でシリンジに採取し、ニプロ コンビキャ ップを装着し、払出し ◆フェスゴ投与30分後、前投薬開始。2回目以 降は15分。生食の残液は廃棄		10 分	day8・15 メイン①生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ()mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A
	10 分	メイン②生理食塩液 100mL 1B ※2 デキサート注 ()mg ファモチジン注 20mg 1V ポララミン注 5mg 1A	30 分 60 分	側①生理食塩液 50mL 1B 側②5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ()mg 側③生理食塩液 50mL 1B
30 分 60 分	側②生理食塩液 50mL 1B 側③5%ブドウ糖液 250mL 1B パクリタキセル点滴静注液 ()mg		全開 (5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B
全開(5 分)	側④生理食塩液 50mL 1B		備 考 ・フェスゴ投与終了後には経過観察の時間を持ち、Infusion reaction 症状があらわれていないことを確認し、次の薬剤を投与する。(初回 30 分、問題なければ 2 回目以降 15 分) ・フェスゴは初回投与時は、8 分以上かけて、2 回目以降は、5 分以上かけて大腿部に皮下投与 ・フェスゴは予定された投与が遅れた場合は、以下のとおり投与することが望ましい。	

		<p>前回投与日から6週間未満のとき： 維持投与量（フェスゴ配合皮下注 MA）</p> <p>前回投与日から6週間以上のとき： 改めて初回投与量（フェスゴ配合皮下注 IN）を投与し、次回以降は維持投与量を 3 週間間隔で投与</p> <p>※2 デキサート注</p> <p>初回6. 6mg、2回目3. 3mg、3回目1. 65mg ・day8・15 側①生食はドリップアイを使用し滴下時間(30 分)を調節するため側管から投与。</p> <p>【レジメンシステム登録】</p> <p>2049-1A （1-1）PTX＋フェスゴ配合皮下注 IN(DEX6.6mg) 2049-2A （1-2）PTX＋フェスゴ(DEX3.3mg) 2049-3A （1-3 以降）PTX＋フェスゴ(DEX1.65mg) 2049-4A （2-1 以降）PTX＋フェスゴ配合皮下注 MA (DEX1.65mg)</p>
--	--	---